

が、2階に上がったときに息を呑みました。そこには高校生の頃に見たサント・シャペル教会のステンドグラスの写真そのもので、日光に照らされて輝く360度のステンドグラスの世界が広がっていました。このステンドグラスには聖書の物語が描かれており、本当に鮮やかで圧巻でした。パリに観光に来た際にはぜひこのステンドグラスを見て帰ってください!!!

### 【ルーヴル美術館】

フランスに行ったらぜひ行きたいと思っていたのがルーヴル美術館です。もともと世界史が好きだったのでここに行くのをとても楽しみにしていました。私は1回目の旅行、2回目の旅行どちらもルーヴル美術館に行きました。というのは、ルーヴル美術館は広すぎて1回目だけでは全く見る事が出来なかったからです。その広さは想像以上で、見たい作品だけ見ようとすると迷子になりたどり着くまでに時間がかかります。ルーヴル美術館に来たら見たいと思っていたのはやはり「モナ・リザ」です。ルーヴル美術館の入場チケットを買うまでも事前パスを持っていれば約30分、持っていなければ1時間以上かかったのですが、モナ・リザを見に行くための列がさらにあります。私が行った時、改装工事のためモナ・リザはいつもの展示場所ではなく2階に移動し展示してありましたが、このモナ・リザの列は地下2階から繋がっていました。モナ・リザにたどり着くまでに1時間近くかかりましたが、鑑賞できる時間はたった1、2分です。また、鑑賞場所からモナ・リザまでは10mくらいあり、そのうえ防弾ガラスに覆われているので全然鑑賞できませんでした！(笑)しかし、モナ・リザ以外にもナポレオンの戴冠式(この作品はヴェルサイユ宮殿にもあります。)や民衆を導く自由の女神、サモトラケのニケやミロのヴィーナス、ミイラやスフィンクスなど教科書でしか見たことなかったものを自分の目で見る事ができたので良かったです。しかし、まだまだ見ていない作品は山ほどあるので次フランスに行った際にはまた訪れたいと思います。



本物のミイラ

### 【Mont Saint-Michel】

Mont Saint-Michel (モンサンミッシェル) はフランスの北東部に位置し、世界遺産にも登録されている海の上に浮かぶ教会です。“聖ミカエル山”という意味のこの教会は708年にオペール司教の夢の中に出てきた聖ミカエルの「私のための教会をつくって下さい」というお告げから建てられたもので、もともとは小さい山小屋でした。その後何度も増改築が行われ、13世紀に今のモンサンミッシェルになりました。そのため様々な建築様式が合わさって作られています。モンサンミッシェルは教会ですが、イギリスとの100年戦争時には不落の要塞やフランス革命時には政治犯を収容した監獄としても使われました。そのため地下には牢獄などもあります。



パリから313km離れているため今回は1泊2日のバスツアーに参加しました。ホテルはツアー会社がランダムで選ぶのですが、なんとモンサンミッシェル内のホテルになり、世界遺産の中で泊まることができました。

ツアー初日はパリを7時に出発し、Honfleur(オンフルール)という港町に寄ってからモンサンミッシェルへ向かいました。このオンフルールはセヌ川の河口にある街で、有名な旧港はモネなどの印象派の画家がこぞって描きにきました。また木組みの家も多くとっても素敵なお店です。時間の関係で滞在時間は30分と短くゆっくり楽しむことはできませんでしたが、フランスで初めて海を見ることができました。

モンサンミッシェルに行く前に、対岸のレストランで昼食を食べました。そのコースの前菜でモンサンミッシェル名物のオムレツを食べました。このオムレツは昔モンサンミッシェルに苦勞してやってきた巡礼者たちをもてなそうとつくったものが始まりで、卵を泡立てて作ったとてもふわふわしたオムレツです。味はシンプルに塩で味付けされており、薄味で正直あまり美味しくなかったのですが、『昔の巡礼者がどんな理由でモンサンミッシェルに来てどんな気持ちでこのオムレツを食べたのかなあ』などと思いを馳せることが出来ました。



有名なオムレツ

レストランからはバスに乗り、橋を渡ってモンサンミッシェルに到着しました。旅行前に語学学校で「今度モンサンミッシェルに行く。」と話をしたとき、先生に「日本人はモンサンミッシェルが好きね。あそこにはいつもたくさんの日本人観光客が来ている